



熱意

小美玉市立小川南中学校 学校だより
NO. 10 令和 2 年 7 月 13 日 発行

教育目標 これからの時代を切り拓く たくましい生徒の育成

キーワード 熱意と誠意 ～ 本気で 明るく 粘り強く ～

学力向上支援員



7月から、学力向上支援員として、茨城キリスト教大学4年生の齋藤磨勲さんにご指導いただいております。齋藤さんは、昨年度、「学びの広場」のサポーターとしてご支援いただいているので、生徒との距離が近い存在です。生徒の学力向上の

ために、授業にはT・Tとして入ってもらいます。生徒の皆さん向けに、メッセージをいただきました。

茨城キリスト教大学から来ました齋藤磨勲です。皆さんの学びをサポートできるよう精一杯頑張りたいと思います。分からないことなどを正確に導けるよう努力しますので、皆さんよろしくお願いします。



主体的・対話的で深い学び

「主体的・対話的で深い学び」、これは今回の学習指導要領改定の中心的考え方です。ある事柄に関する知識の伝達だけに偏らず、学ぶことと社会とのつながりをより意識した教育を行い、子どもたちがそうした教育のプロセスを通じて、基礎的な知識・技能を習得するとともに、実社会や実生活の中でそれらを活用しながら、自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に探究し、学びの成果等を表現し、さらに実践に生かしていけるようにすることが重要であるという視点です。

本校でも、この「主体的・対話的で深い学び」を目指して授業改善に取り組んでいるところです。

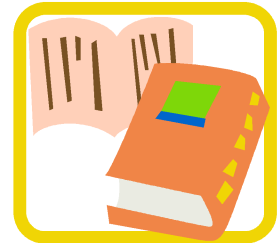
6日(月)、2年生の国語でこんな授業が展開されていました。『「口」に2画加えてできる漢字はどんなものがある?』生徒は、グループで話合ってホワイトボードに話合った答えを書いていきます。どのグループがた

くさん見つけられるか、競争です。「田」、「申」、「旧」など、たくさんの漢字が見つけられました。一番見つけたグループは16個の漢字を見つめました。

次は、「口」に3画足してできる漢字は?今度は負けまいとたくさんの漢字を見つけますが、すぐには思いつきません。一番たくさん見つけたグループは17個。子どもたちの発想の豊かさに驚かされた授業でした。

もちろん、みんなで考えたというよりは、それぞれ個人が考えた答えを集めただけのグループもありますが、考え方を伝え合い、正しい漢字のヒントにしていたグループもありました。

頑張っている南中生をこれからも紹介していきます。



頑張ってます! 清掃活動

写真は、本校の清掃活動の一場面です。膝をついて雑巾がけをしている姿です。それも一人や二人ではありません。雑巾がけをしているすべての生徒が、膝をついて黙々と活動しています。



この素晴らしい取組を、全生徒が意識して行っていることに素晴らしさを感じます。小川南中学校の伝統を、これからも継承してほしいと思います。